

2012-13 年度  
ロータリー米山記念奨学生  
奨学金支給終了式および歓送会の報告

3月2日(土)千葉スカイウィンドウズ東天紅において2012-13年度採用米山奨学生の奨学金支給終了式および歓送会が行われました。

終了式・歓送会には得居仁ガバナー、平山金吾PG(公財)米山記念奨学会副理事長、関口徳雄ガバナーエレクトが参加されました。

終了式では奨学生とカウンセラーが揃って壇上に上がり得居ガバナーより終了証と感謝状、記念品が手渡されました。

続いて、次年度も継続して奨学金支給を受ける奨学生を代表し潘婧さん(中国・君津RC)が終了する奨学生に花むけの送る言葉を、今年度終了する奨学生からはサジーワニー・ルツワニさん(スリランカ・松戸西RC)が答辞を述べました。それぞれの立場からカウンセラーと関係者にお礼を述べながら今後も学友・奨学生として心新たに頑張っていきたいと抱負を述べました。

歓送会では2012年度採用の奨学生達で結成された2012年度米山奨学生同期会の代表役員であるホセ・ゴンザレス君(メキシコ・大原RC)と楮笑雲さん(中国・船橋東RC)の両名が司会を買って出、奨学生とカウンセラーの座るテーブルにマイクを持ってインタビューして回り、奨学金の思い出や感じた事、学んだ事、それぞれが思い思いの話を発表しました。

そして、奨学生から感謝の気持ちを込めた手作りの贈り物がカウンセラーに手渡され、涙あり、笑いありの楽しい一時はあっという間に過ぎ、最後に得居ガバナーから謝辞が述べられお開きとなりました。

## 得居仁ガバナー 挨拶

一言ご挨拶申し上げます。

カウンセラーの皆様の1年間のご苦勞に心から感謝申し上げます。

ロータリー米山記念奨学金は、顔の見える奨学金制度であることが最大の魅力ですが、それはカウンセラーと世話クラブがあつてのことです。

カウンセラーとお世話クラブに改めて御礼を申し上げます。

奨学生の皆さん、1年間という短い期間ではありましたが、皆さんの勉学の手助けが出来たことを、心から喜んでおります。

皆さんの奨学金は、国際ロータリー第2790地区(1月末日現在2742人)ロータリアンから寄せられた寄付金であります。従いまして、皆さんの勉学の手助けが出来たというこの喜びは、RI第2790地区ロータリアン全員の思いでもあります。

研究生生活が続ける方、お国に帰られる方、日本で就職される方と、これからの進路は、様々でありましょうが、私達RI第2790地区ロータリアンは、皆さん全員がそれぞれの立場において、全力を尽くして、頑張つて、成長して行って下さることを願っています。

今日の会合は、修了式と名付けられていますが、言い換えれば、ロータリー米山記念奨学生として



の卒業式でもありましょう

卒業式は、American English では、Commencement であり、Commencement とは、次の新しい人生の始まり、開始であります

皆さんの明日からの新たな人生の門出に、幸多かれ、とお祈りいたしまして、ご挨拶いたします。



平山金吾 P G 挨拶



関口徳雄 GE 挨拶



平野一隆委員長 挨拶



郭東潤学友会理事長 挨拶



カウンセラーに対する感謝状の授与



終了証と記念品の授与



奨学生が感謝を込め記念品を贈呈



思い出を語る奨学生 白陽さん



1年間を振り返って



藩靖さん 送辞



サジーさん答辞



奨学生からカウンセラーへ記念品



感謝の言葉 楮笑雲さん

## 謝辞 得居仁ガバナー



先ほど妻島様をはじめ、地区委員長や地区委員のご経験豊富な方達から、今年の委員会はわずか4人、それも全員が未経験者であったにも拘わらず、7人も8人も地区委員がいたご自分たちの時よりも、見事に、立派に地区委員会を運営した、とお褒めを受けました。

我がことのように嬉しいですし、また自分が褒められてよりもはるかに嬉しいことです。有難うございました。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。」この言葉が、米山記念奨学金制度のすべてを物語っています

私達第2790地区を含む、日本のロータリアンのロータリー米山記念奨学金寄付は、何の見返りを求めることのない、平和日本を肌で感じてもらうことだけを願ってのものであります。

奨学生の皆さんに、お礼を言って頂くことや、感謝して貰うことを、望んだり、要求するものでは、決してありません。

ロータリー米山記念奨学金は、ロータリアンの善意の寄付に頼るだけのものです。その意味では、基礎・基盤が大変にもろいと言えます。

奨学生の皆さんが、このロータリー米山記念奨学金制度に感謝の気持を抱いていて下さるのであれば、ロータリー米山記念奨学金制度がこれから先も続いて行くこと、更には寄付金が増大して、一人でも多くの後続く学生へ奨学金をお出しすることができるよう、私達ロータリアンが努力することに、協力して頂きたいと願っています。

その為には、日本に止まるのであれば、学友会への積極的な参加、また、母国に帰られ、お国に学友会があれば是非、お国の学友会活動に積極的に参加して頂きたいと存じます。

そして、時には、カウンセラーやお世話クラブに近況を伝えることもして欲しい、と願っています。

お世話クラブの会員やカウンセラーは、一人の例外もなく、皆さんがそれぞれの立場で、元気で、頑張ってくれているのを、知りたい、陰ながら応援したい、と願っています。

そして、もう一つ、私達日本のロータリアンが、平和を愛好し、平和を目指していることを、皆さん一人一人が、それぞれの周りの人達に伝えることをして頂けば、私達第2790地区ロータリアンの思いが叶います。

第2790地区ロータリアンと皆さん、そして我が国と皆さんの祖国とが、未来永久に亘って、友好関係を維持していくことが出来ますよう、皆さんと一緒に手を携えて、進んで行きたい、と強く念願しています

このことこそが、今年度の国際ロータリーのテーマ「奉仕を通じて平和を **Peace Through Service**」の実践であります。

最後に、改めまして、カウンセラーの皆様、そして今年度全力を尽くして私の地区目標達成に全力投球をして下さった地区ロータリー米山記念奨学会委員会の皆様に御礼を申し上げます。

有難うございました。

終了式を終えて記念撮影

